

平成 21 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2 月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計, 比較経済, 政策科学, 経営学, 会計学, 組織経済学, 地域公共政策コース
専門科目	会計学

以下の問 1 及び問 2 の両方に答えなさい。なお, 問 1 は解答用紙の 1, 2 ページを, 問 2 は解答用紙の 3, 4 ページを用いて解答しなさい。

問 1 「リース取引に関する会計基準」にもとづき, 以下の設問に解答しなさい。

- (1) ファイナンス・リース取引とは何か説明しなさい。
- (2) ファイナンス・リース取引における借手側の会計処理について説明しなさい。

問 2 A 社は, 下記『 』内の投資案件について, その実施の是非を正味現在価値法で評価している。設問の指示にしたがって解答しなさい。

『 ①新規設備投資額は 90 億円, 減価償却は残存価額ゼロ, 耐用年数 3 年, 定額法で計算, ②年々の現金収益は 45 億円, 年々の現金費用は 5 億円, ③法人税を考慮して評価し, 法人税率は 40% (A 社は黒字企業である), ④必要資金は新株発行 50%, 社債発行 50%の比率で調達し, それぞれの資本コストは新株 15%, 社債は 5%とする。』

- (1) 正味現在価値を計算するのに必要な年度別現金収支を, 計算過程がわかる表にして記述しなさい。
- (2) 加重平均資本コストを求めなさい。なお, 計算式も記述しなさい。
- (3) 正味現在価値額を求めなさい。なお, 計算式も記述しなさい。但し, r は割引率, n は年数とする。

現在価値係数表	$r \setminus n$	1	2	3
	9%	0.917	0.842	0.772
	10%	0.909	0.826	0.751

- (4) この投資案件に関連して, 前年度支払済みの調査費 2 億円があった場合, どのように評価上考慮すべきか。その理由も記述せよ。 以上